

富士市公立教育・保育施設再配置計画

個別計画

平成31年3月

富士市

(保育幼稚園課)

目次

1	再配置計画個別計画の策定にあたって	1
2	ハードの取組（施設の再編）	4
	◎吉原西部圏域	4
	◎吉原東部圏域	5
	◎富士北部圏域	6
	◎富士南部圏域	7
	◎鷹岡・大淵圏域	8
	◎富士川圏域	9
	◎市全体の再配置まとめ	10
3	ソフトの取組（事業の実施）	11
4	検討課題	12
5	今後のスケジュール	13

1 「富士市公立教育・保育施設再配置計画」策定までの経緯

現在、我が国では、少子高齢・人口減少社会の本格的到来、核家族化の進行、女性の社会進出に伴う保護者の就労環境の変化などを背景に、子どもや子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。

本市では、公立教育・保育施設として、幼稚園が10園、保育園が18園、認定こども園が1園ありますが、こうした社会情勢の影響により、幼稚園の園児が減少傾向にある一方、保育園の入園希望者は増加傾向にあります。

このため、市全体としてバランスのとれた施設の再編を行う必要があることから、平成30年3月に「富士市公立教育・保育施設再配置計画（以下「再配置計画」という。）」を策定しました。

再配置計画は、人口減少や保育ニーズの高まりなどの社会情勢の変化や公共施設再編の方向性を踏まえ、乳幼児期の教育・保育環境の向上を図りつつ、持続可能な都市経営の実現に向け、公立教育・保育施設の再配置に係る基本的な考え方を、平成30年度から平成39年度までの10年間の計画として定めたものです。

2 基本方針

再配置計画において定めた基本方針は、次のとおりです。

基本方針：公立教育・保育施設の適正な数への再編と質の向上

3 再配置の方策

再配置にあたっては、施設の再編に係るハードの方策と、実施事業に係るソフトの方策を一体的に推進していくとしています。

<ハードの方策（取組）>

◎拠点化

- ・公立園が実施すべき機能を確保するため、各圏域で幼稚園は1園、保育園は1～2園程度設定

◎統廃合（廃止）

- ・需要の減少が見込まれる施設を統廃合（廃止）

◎複合化

- ・施設の老朽化等により、施設維持が困難な場合、近隣公共施設の改築等の動向に併せて、複合化

◎民間移管

- ・継続的な需要があり、民間による効果的・効率的な運営が可能な場合、民間移管

<ソフトの方策（取組）>

◎特別な配慮や支援が必要な子どもへの取組の充実

- ・特別な配慮や支援が必要な子どもの発達が、どの圏域でも同水準の教育・保育を受けることができるよう取り組む。

◎既存事業の充実

- ・「ことばの教室」や「一時預かり」などが、どの圏域であっても利用できるよう、事業の充実を図る。

◎教育・保育の質の向上

- ・公立が中心となり、研修の機会の提供と教育・保育の研究機関としての機能を充実し、私立・民間と連携して市全体の教育・保育環境の維持と質の向上を図る。

※計画期間中に新元号への変更が予定されていますが、計画策定の時点では新元号が未定であることから、本計画では現元号を使用し、新元号の移行に伴い元号を読み替えるものとします。

4 再配置実行のための個別計画

再配置計画の基本方針に基づき、方策を実行に移すため、各圏域（吉原西部、吉原東部、富士北部、富士南部、鷹岡・大淵、富士川）における再配置の対象園及び実施すべき事業を定めた個別計画を策定します。

5 個別計画に関する検討

個別計画策定にあたり、市関係部署による「再配置庁内検討委員会」及び「再配置庁内検討委員会ワーキンググループ」を設置し、再配置対象園、実施事業、統廃合（廃止）に伴う跡地利用等について、検討をしました。

(1) 再配置庁内検討委員会

開催回	日にち	検討事項
第1回	平成30年5月9日(水)	・再配置計画の概要 ・検討に係るスケジュールについて
第2回	平成30年8月21日(火)	・ワーキンググループの検討状況 ・個別計画策定までのスケジュールについて
第3回	平成30年11月20日(火)	・個別計画（案）の検討について

(2) 再配置庁内検討委員会ワーキンググループ会議

開催回	日にち	検討事項
第1回	平成30年5月25日(金)	・再配置計画の概要 ・検討に係るスケジュールについて ・各圏域別再配置計画と各施設の概要
第2回	平成30年6月13日(水)	・再配置対象園の検討について
第3回	平成30年7月10日(火)	・再配置対象園（案）について ・実施事業、跡地利用、民間移管に関する事項について
第4回	平成30年8月9日(木)	・実施事業、跡地利用、民間移管に関する検討について
第5回	平成30年11月14日(水)	・個別計画（案）の検討について

6 説明会の開催

「再配置庁内検討委員会」及び「再配置庁内検討委員会ワーキンググループ」において、検討した再配置計画個別計画の素案について、市内全26地区等で説明会を開催しました。

(1) 開催日・場所

- ①各地区説明会 開催日：平成30年9月19日(水)から11月9日(金)まで
場 所：市内各地区まちづくりセンター（26か所）
- ②その他の説明会 開催日：平成30年10月25日(木)・11月5日(月) ほか
場 所：消防防災庁舎7階大会議室 ほか
その他：私立幼稚園・民間保育園の関係者や各園在園児の保護者等に対し、会合に合わせて説明を行いました。

(2) 参加延人数 926人（会合除く）

(3) 質問等総数 185件

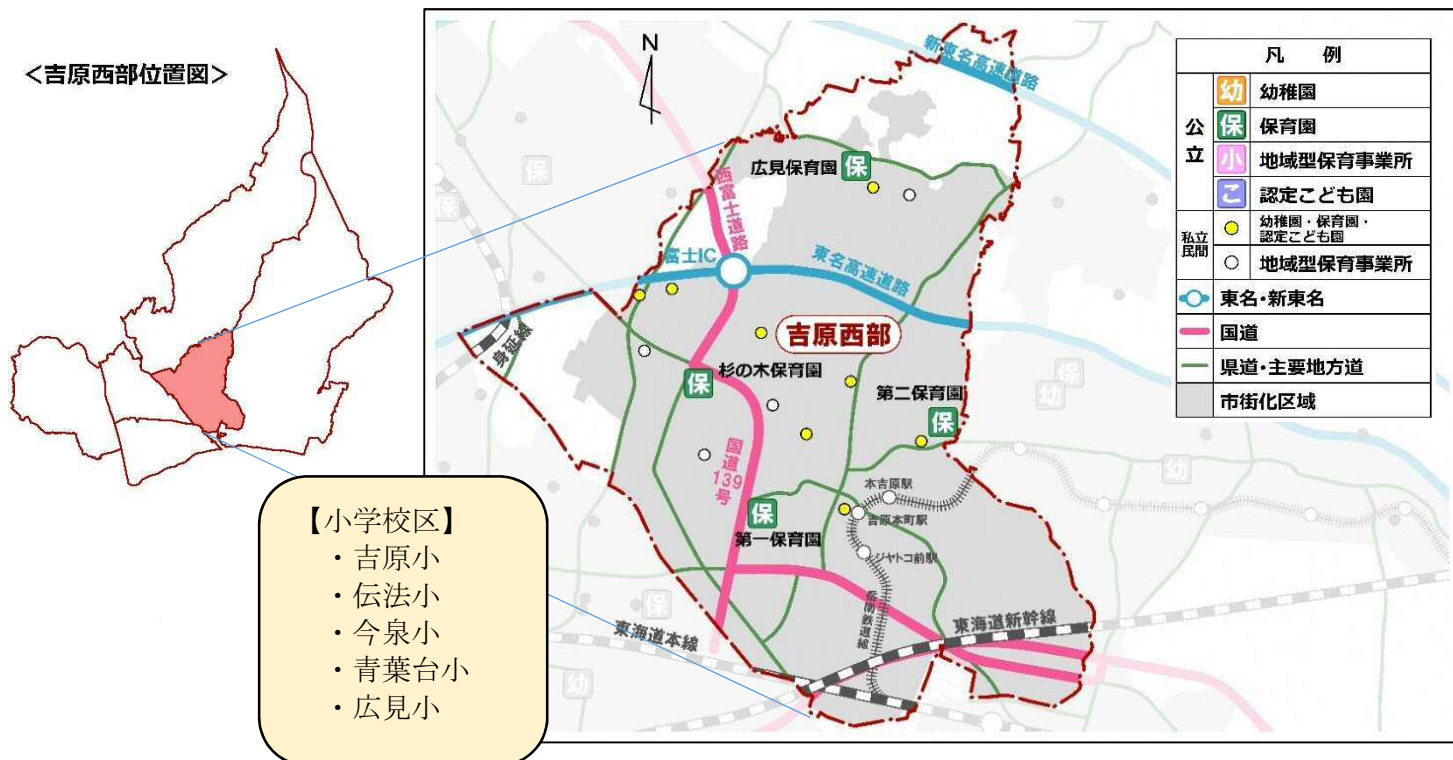
(4) 主な質問事項等

質問内容	回答要旨
①幼稚園の廃止に関すること	
公立幼稚園の入園児の減少理由について	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の就労環境の変化に伴う保育需要の増加 ・「子ども・子育て支援新制度」に伴う保育料の増加
廃止する公立幼稚園の認定こども園化について	<ul style="list-style-type: none"> ・計画なし（幼稚園需要の減少のため）
②保育園の廃止・民間移管に関すること	
保育園の民間移管理由について	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体の保育の質の向上を図るため（民間移管に伴う削減費用を質の向上を図る事業へ充当予定）
民間事業者の条件及び土地や建物の移管方法について	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で運営実績がある社会福祉法人または学校法人を予定 ・土地や建物の譲渡・賃貸等の移管方法は未定
③保育料に関すること	
民間移管に伴う保育料について	<ul style="list-style-type: none"> ・原則変更なし（保育園・認定こども園は市民税額による応能負担）
保育料無償化に伴う影響について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 31 年 10 月以降、3 歳から 5 歳児の保育料は無料となる予定
④待機児童・保育需要に関すること	
待機児童の数について	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年 4 月時点待機児童数 2 人、年度末に向けて増加傾向
保育需要の動向について	<ul style="list-style-type: none"> ・保育需要は増加傾向（長時間保育の需要増加）
⑤その他	
再配置対象園に勤務する職員の処遇について	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、拠点園に人事異動 ・臨時職員のうち希望者については民間事業者へ再就職を検討
通園手段の検討について	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフト事業の実施に合わせて検討
保育士確保対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催合同就職ガイダンスの実施など保育士・幼稚園教諭確保対策を実施
幼稚園の『2年連続 12 人基準（※）』の適用について	<ul style="list-style-type: none"> ・再配置計画実行後も適用
元吉原幼稚園の 3 年保育の実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・計画なし（入園児童数の減少のため）
ソフト事業の実施時期について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の再配置に合わせて実施するが、前倒し可能な事業は、検討の上実施
廃止となる園の跡地利用について	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討課題

※「2年連続 12 人基準」・・・適正な人数での集団教育を実施するため、最低人数を 1 クラス 12 人と定め、新規入園児童数が 2 年連続 12 人に満たない場合、翌年から新規入園の募集を行わないこととしています。
（平成 29 年から運用）

◎吉原西部圏域

<吉原西部位置図>



1 人口の動向

吉原西部圏域の人口は、平成22年の61,057人をピークに減少に転じており、平成30年は58,899人となっています。なお、平成39年には、56,664人となると推計しています。

就学前児童数（0～5歳人口）は、圏域人口と同様に減少傾向となっており、平成30年は2,723人となっています。なお、平成39年には、2,565人となると推計していますが、他の圏域と比べ、緩やかな減少となっています。

2 再配置対象園の選定

吉原西部圏域は、現状、公立幼稚園はありません。

公立保育園は、第一保育園、第二保育園、杉の木保育園、広見保育園の4園がありますが、このうち、2園を民間移管します。

保育園4園のうち、第一保育園、杉の木保育園、広見保育園は今後も継続した保育の需要が見込めます。ただし、第一保育園は、災害発生時、災害対策本部となる市役所の近隣にあり、保育に関する災害復旧活動の支援施設としての利用が見込まれることから、第二保育園と共に拠点園として継続します。

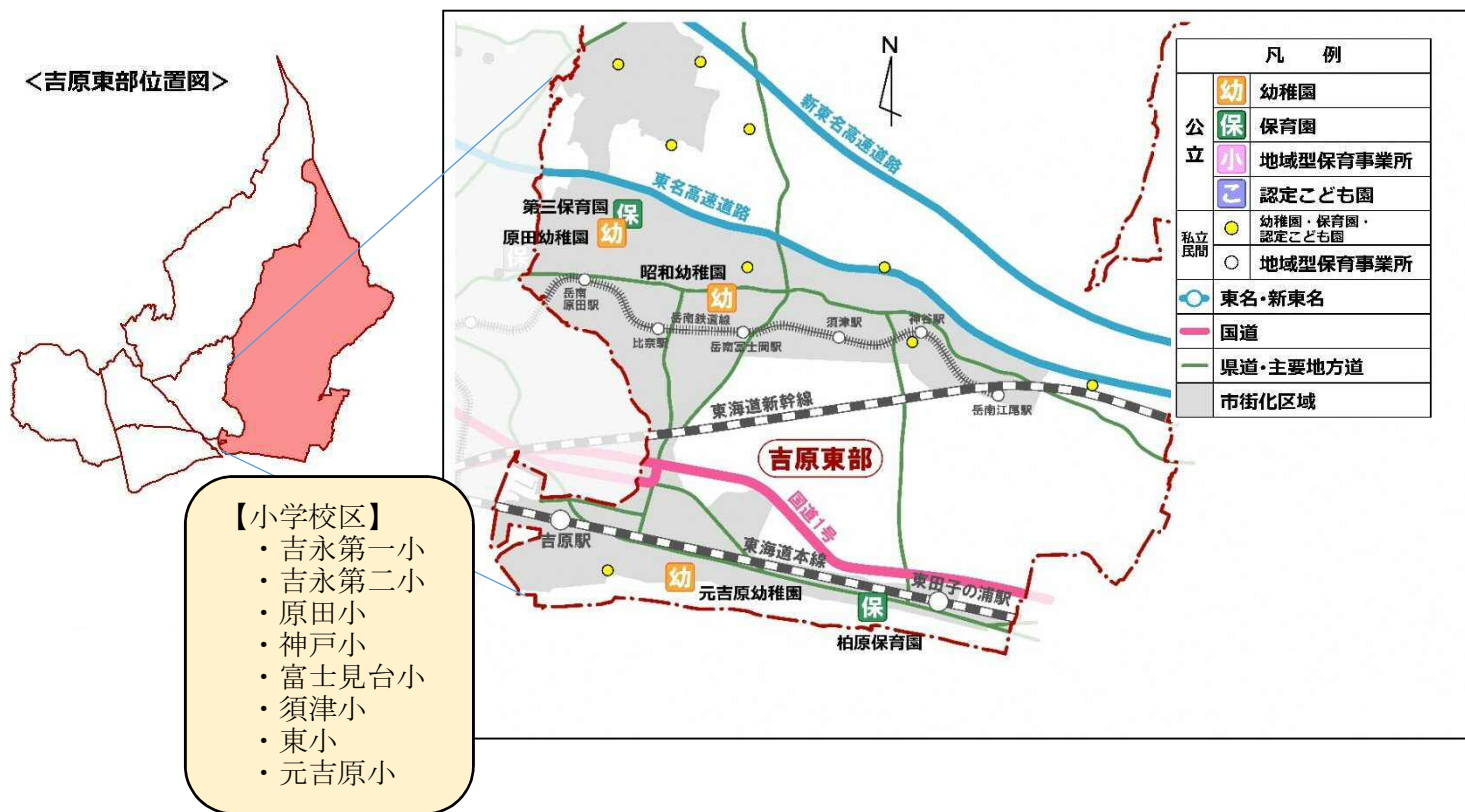
このため、吉原西部圏域の再配置の対象園は、次のとおりとします。

幼稚園・・・再配置対象なし

保育園・・・「民間移管」 2園 杉の木保育園・広見保育園

◎吉原東部圏域

<吉原東部位置図>



1 人口の動向

吉原東部圏域の人口は、減少傾向が続いており、平成30年は48,118人となっています。なお、平成39年には、43,808人となると推計しています。

就学前児童数（0～5歳人口）は、圏域人口と同様に減少傾向となっており、平成30年は1,966人となっています。なお、平成39年には、1,633人となると推計しています。

2 再配置対象園の選定

吉原東部圏域は、現状、公立幼稚園は、元吉原幼稚園、原田幼稚園、昭和幼稚園の3園がありますが、このうち、2園を統廃合（廃止）します。公立保育園は、第三保育園、柏原保育園の2園がありますが、いずれも拠点園とします。

幼稚園3園のうち、元吉原幼稚園は、入園児童数が少ないため統廃合（廃止）とします。

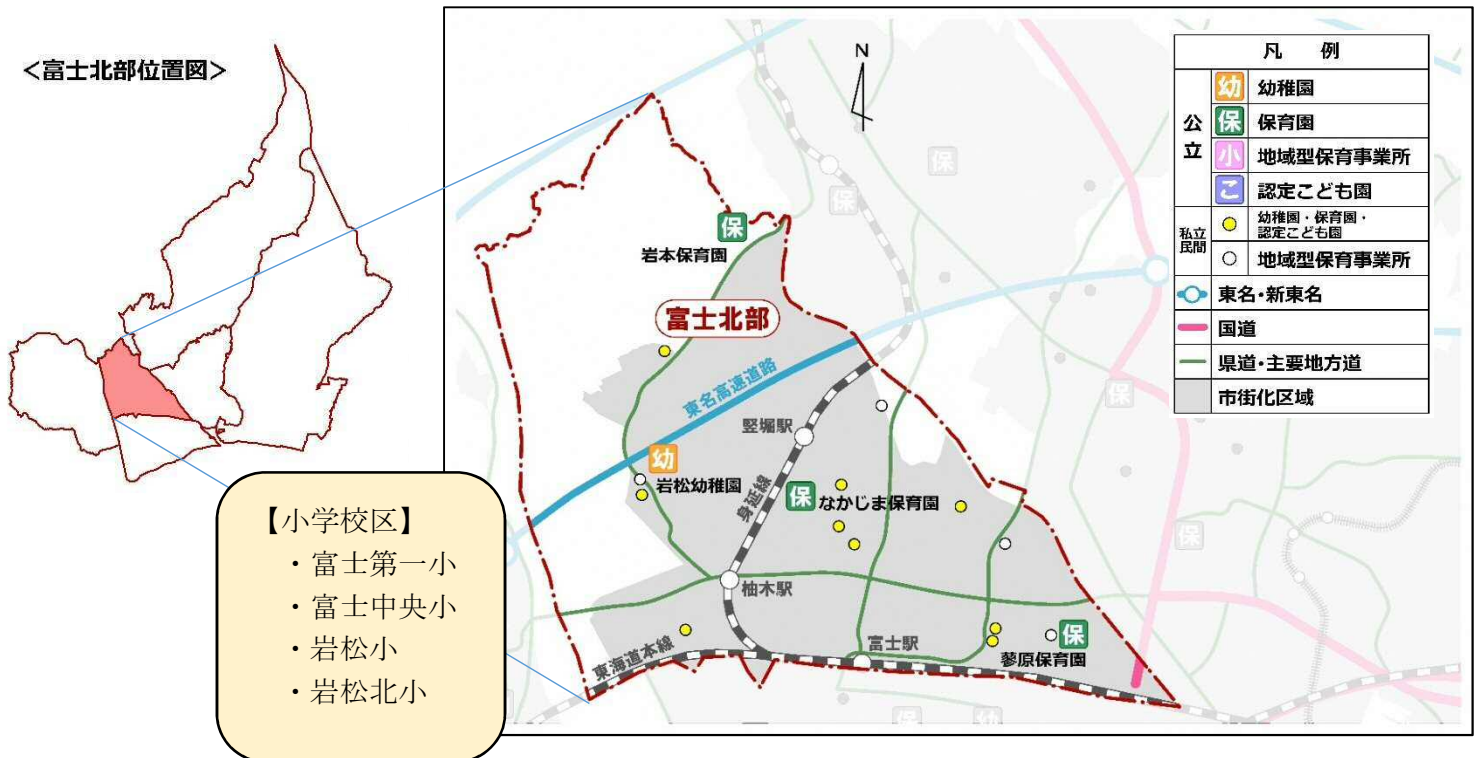
昭和幼稚園は、規模の大きな園であり、送迎用駐車場も多く確保できることから、昭和幼稚園を拠点園とし、原田幼稚園を統廃合（廃止）することとします。

保育園2園は、拠点園として現状維持とします。

このため、吉原東部圏域の再配置の対象園は、次のとおりとします。

幼稚園・・・「統廃合（廃止）」 2園 元吉原幼稚園・原田幼稚園
 保育園・・・「現状維持」

◎富士北部圏域



1 人口の動向

富士北部圏域の人口は、平成24年に41,325人となった後、減少傾向に転じましたが、その後、回復し微増となっており、平成30年は41,489人となっています。なお、平成39年には、40,100人となると推計しています。

就学前児童数（0～5歳人口）は、平成22年の2,622人をピークに減少傾向となっており、平成30年は2,275人となっています。なお、平成39年には、1,866人となると推計しています。

2 再配置対象園の選定

富士北部圏域は、現状、公立幼稚園は、岩松幼稚園の1園があり、拠点園とします。公立保育園は、蓼原保育園、なかじま保育園、岩本保育園の3園ありますが、このうち、1園を民間移管します。

岩松幼稚園は、計画どおり、拠点園として現状維持とします。

保育園3園のうち、蓼原保育園、なかじま保育園は今後も継続した保育の需要が見込めます。このうち、なかじま保育園の方が、園舎が新しいため、運営を希望する民間事業者の確保が見込めることから、民間移管の対象園として選定し、蓼原保育園、岩本保育園を拠点園とします。

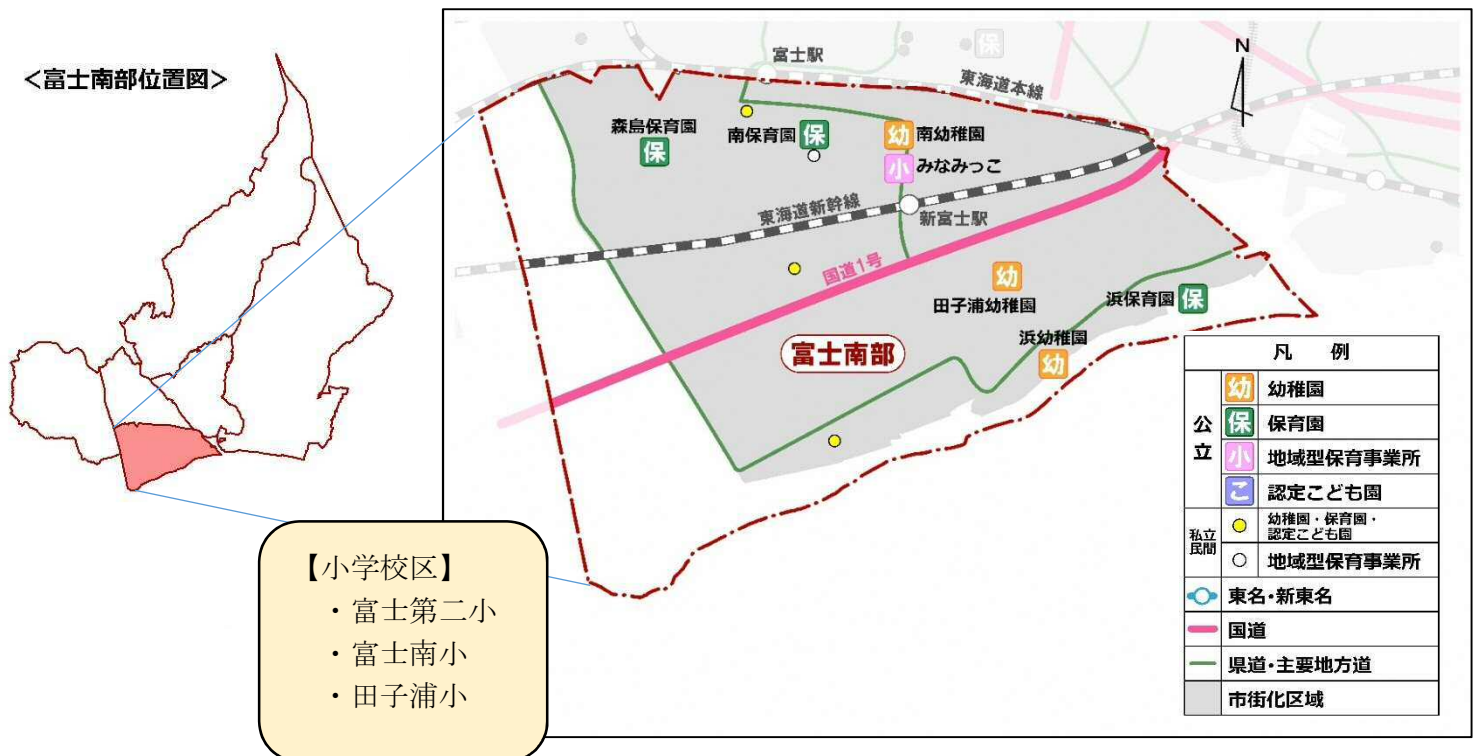
このため、富士北部圏域の再配置の対象園は、次のとおりとします。

幼稚園・・・「現状維持」

保育園・・・「民間移管」 1園 なかじま保育園

◎富士南部圏域

<富士南部位置図>



【小学校区】

- ・富士第二小
- ・富士南小
- ・田子浦小

1 人口の動向

富士南部圏域の人口は、平成 23 年の 44,279 人をピークに減少傾向となっており、平成 30 年は 43,862 人となっています。なお、平成 39 年には、41,526 人となると推計しています。

就学前児童数（0～5 歳人口）は、圏域人口と同様に減少傾向となっており、平成 30 年は 2,150 人となっています。なお、平成 39 年には、1,936 人となると推計していますが、他の圏域と比べ、緩やかな減少となっています。

2 再配置対象園の選定

富士南部圏域は、現状、公立幼稚園は、田子浦幼稚園、浜幼稚園、南幼稚園の 3 園がありますが、このうち、2 園を統廃合（廃止）します。公立保育園は、南保育園、浜保育園、森島保育園の 3 園がありますが、このうち、2 園を統廃合（廃止）します。

幼稚園 3 園のうち、浜幼稚園、南幼稚園は、入園児童数が少ないため統廃合（廃止）とし、田子浦幼稚園を拠点園とします。

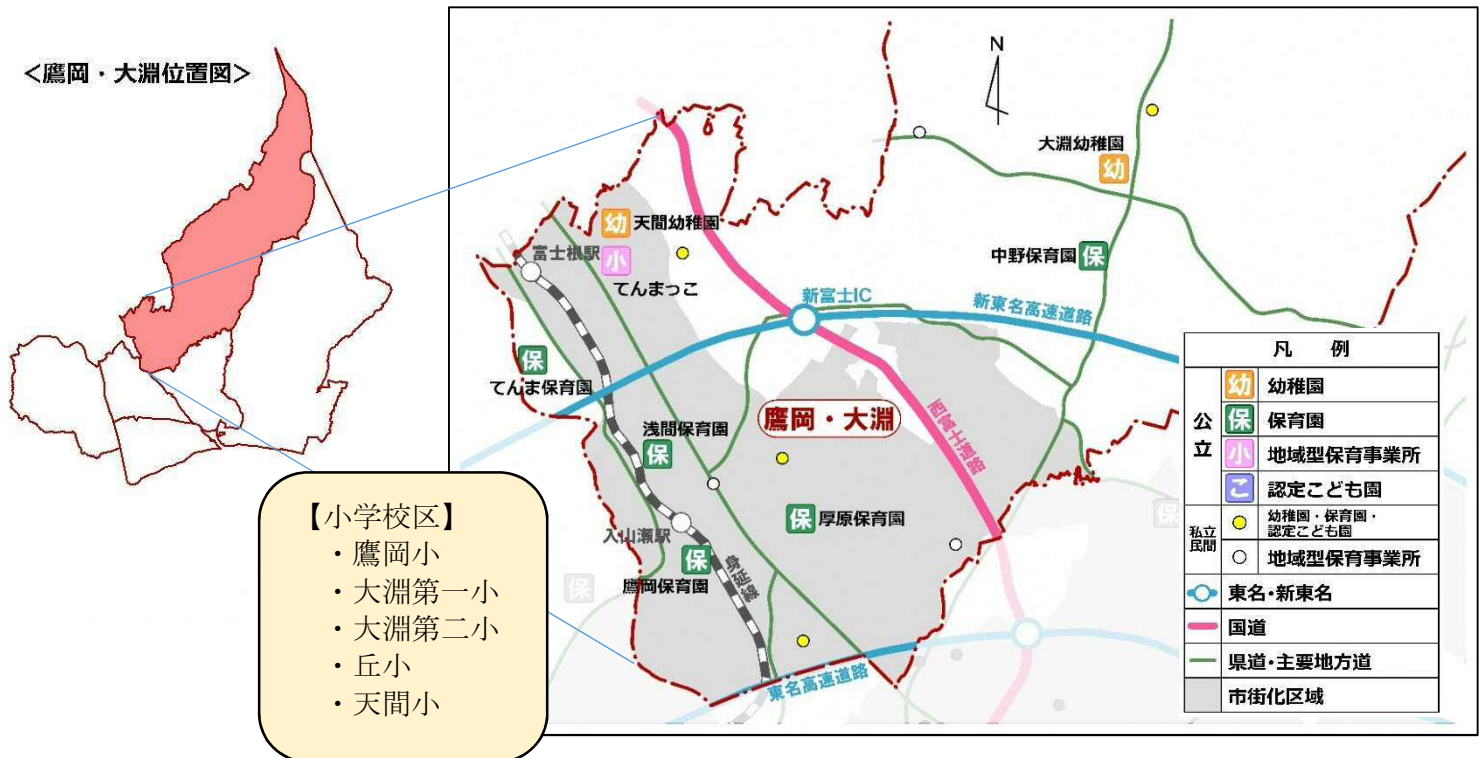
保育園 3 園のうち、浜保育園、森島保育園は、いずれも近隣に民間の保育園又は認定こども園が新設予定であるため、統廃合（廃止）とし、南保育園を拠点園とします。浜保育園、森島保育園ともに平成 36 年度末を目途に統廃合（廃止）の予定ですが、一定期間新設民間園と並行して運営する期間を設け、保育需要に対応します。

このため、富士南部圏域の再配置の対象園は、次のとおりとします。

- 幼稚園・・・「統廃合（廃止）」 2 園 浜幼稚園・南幼稚園
- 保育園・・・「統廃合（廃止）」 2 園 浜保育園・森島保育園

◎鷹岡・大淵圏域

<鷹岡・大淵位置図>



1 人口の動向

鷹岡・大淵圏域の人口は、平成 23 年の 46,359 人をピークに減少傾向となっており、平成 30 年は 45,887 人となっています。なお、平成 39 年には、43,719 人となると推計しています。

就学前児童数（0～5 歳人口）は、圏域人口と同様に減少傾向となっており、平成 30 年は 2,147 人となっています。なお、平成 39 年には、1,750 人となると推計しています。

2 再配置対象園の選定

鷹岡・大淵圏域は、現状、公立幼稚園は、大淵幼稚園、天間幼稚園の 2 園がありますが、このうち、1 園を統廃合（廃止）します。公立保育園は、中野保育園、鷹岡保育園、厚原保育園、浅間保育園、てんま保育園の 5 園がありますが、このうち、3 園を民間移管します。

幼稚園 2 園のうち、大淵幼稚園は、入園児童数が少ないため統廃合（廃止）とし、天間幼稚園を拠点園とします。

保育園 5 園のうち、中野保育園、鷹岡保育園、厚原保育園、浅間保育園は今後も継続した保育の需要が見込めます。このうち、浅間保育園の敷地は、市有地ではないため、運営を希望する民間事業者の確保が難しいことから、中野保育園、鷹岡保育園、厚原保育園の 3 園を民間移管の対象園として選定し、浅間保育園、てんま保育園を拠点園とします。

このため、鷹岡・大淵圏域の再配置の対象園は、次のとおりとします。

- | | | |
|-----------------|-----|-------------------|
| 幼稚園・・・「統廃合（廃止）」 | 1 園 | 大淵幼稚園 |
| 保育園・・・「民間移管」 | 3 園 | 中野保育園・鷹岡保育園・厚原保育園 |

◎富士川圏域

<富士川位置図>



1 人口の動向

富士川圏域の人口は、減少傾向が続いており、平成30年は15,846人となっています。なお、平成39年には、14,441人となると推計しています。

就学前児童数（0～5歳人口）は、圏域人口と同様に減少傾向となっており、平成30年は616人となっています。なお、平成39年には、508人となると推計しています。

2 再配置対象園の選定

富士川圏域は、現状、公立幼稚園は、富士川第一幼稚園の1園、公立保育園は、岩淵保育園の1園、公立認定こども園は、松野こども園の1園がありますが、いずれの園も計画通り拠点園として現状維持とします。

このため、富士川圏域の再配置の対象園は、次のとおりとします。

幼稚園・・・「現状維持」

保育園・・・「現状維持」

認定こども園・・・「現状維持」

◎市全体の再配置まとめ

再配置の施設数は、市全体で幼稚園の統廃合（廃止）が5園、保育園の統廃合（廃止）が2園、保育園の民間移管が6園です。対象となる園は、次の一覧のとおりです。

【公立幼稚園・保育園・認定こども園一覧】

圏域	施設種別	園名	再配置
吉原西部	保育園	第一保育園	—
		第二保育園	—
		杉の木保育園	民間移管
		広見保育園	民間移管
吉原東部	幼稚園	元吉原幼稚園	統廃合(廃止)
		原田幼稚園	統廃合(廃止)
	保育園	昭和幼稚園	—
		第三保育園	—
富士北部	幼稚園	岩松幼稚園	—
	保育園	蓼原保育園	—
		なかしま保育園	民間移管
		岩本保育園	—
富士南部	幼稚園	田子浦幼稚園	—
		浜幼稚園	統廃合(廃止)
		南幼稚園	統廃合(廃止)
	保育園	南保育園	—
		浜保育園	統廃合(廃止)
		森島保育園	統廃合(廃止)
鷹岡・大淵	幼稚園	大淵幼稚園	統廃合(廃止)
		天間幼稚園	—
	保育園	中野保育園	民間移管
		鷹岡保育園	民間移管
		厚原保育園	民間移管
		浅間保育園	—
てんま保育園	—		
富士川	幼稚園	富士川第一幼稚園	—
	保育園	岩淵保育園	—
	認定こども園	松野こども園	—

…統廃合(廃止)
 …民間移管

再配置計画実行後の施設数は、次のように見込んでいます。

【再配置後の施設予定数】

公私	施設種別	H30(2018)	H39(2027)	増減
公立	幼稚園	10	5	▲5
	保育園	18	10	▲8
	認定こども園	1	1	0
私立	幼稚園	8	8	0
	保育園	15	23	8
	認定こども園	11	11	0
合計		63	58	▲5

※H39(2027)の私立保育園数には新設予定の2園を含みます。

3

●ソフトの取組（事業の実施）●

ソフトの方策の3つを柱として、市全体の教育・保育の質の向上を図るため、次の6つの事業を実施していきます。

I 既存事業の充実

1 ことばの教室 ※現状、公立幼稚園4園で実施

発音・吃音等、言葉の発達に関する個別相談・個別指導等を行う「ことばの教室」を6圏域全てで実施します。

2 一時預かり ※現状、公立園では2園で実施

保護者の病気・就労などの理由により、保育が必要となった児童を、一時的に保育園で保育する「一時預かり」を6圏域全てで実施します。

II 特別な配慮や支援が必要な子どもへの取組の充実

1 障害児保育

障害児や配慮が必要な子、気になる子を保育するために、保育士等を配置している民間の保育施設への支援を拡充します。

III 教育・保育の質の向上

1 研修の実施

公私立合同の研修会や勉強会を市主催で実施し、保育士、幼稚園教諭のスキルアップを図ります。

2 教育・保育施設の巡回

教育・保育に精通した人材が、市内の幼稚園・保育園等を公私立問わず巡回し、実際の現場を見ながら助言や指導を行う体制を作ります。

3 地域連携保育士の配置

民間施設との連携を図り、支援するための地域連携保育士を6圏域全てに配置し、公私立の協力体制を確立します。

上記のほか、各地区説明会等においていただいた実施要望事業について、検討していきます。

ハード及びソフトの方策実行の準備と併せて、次の課題に取り組んでいきます。

1 ソフトの取組の実施時期及び追加事業の検討

ソフトの取組である6つの事業は、原則、再配置の実行に併せて実施していきませんが、実施可能になり次第事業を進めていきます。

また6つの事業のほか、子育てサービスの充実に繋がる事業を引き続き検討し、実施できるよう取り組んでいきます。

2 民間移管先の法人の選考、条件等の整備

保育の質の確保という観点からも、民間移管先の法人の選考は重要です。市内で実績のある社会福祉法人・学校法人を中心に移管を検討していますが、在園児や保護者、職員にとって、円滑に引き継いでいくことが最も重要です。少なくとも3年前には公募を行い、円滑に移行するため、法人の選考方法、条件等の整備を進めていきます。

3 統廃合（廃止）となる園の跡地利用の検討

統廃合（廃止）に伴い、幼稚園・保育園として使用しなくなる園舎、園庭等の利活用について、関係部署や当該地区の意見等を聴きながら検討していきます。

4 複合化の検討

ハードの取組の複合化については、具体的な園、年度は未定ですが、施設の老朽化や、他の公共施設の改築、再編等に併せて随時検討していきます。

5 計画の検証と見直し

再配置計画に基づく取組については、再配置の実行後に検証を行います。計画期間中であっても、保育料の無償化等、国の制度の動向や社会・経済情勢の変化に応じて、適宜見直しを図ります。

▲今後のスケジュール▼

再配置計画におけるハードの方策のうち、保育園の「民間移管」は、平成 37 年度から 2 園ずつ実施します。移管先の選定にあたっては、市内で実績のある社会福祉法人・学校法人を対象に公募を行う予定ですが、引継期間等を確保するため、移管実施の 3 年前には公募する予定です。なお、対象となる 6 園の公募及び移管順は、平成 31 年度に決定します。

幼稚園の「統廃合（廃止）」は、2 年連続 12 人基準による入園児童の状況により、平成 32 年 3 月 31 日に浜幼稚園、平成 33 年 3 月 31 日に元吉原幼稚園、平成 34 年 3 月 31 日に大淵幼稚園・南幼稚園、平成 36 年 3 月 31 日に原田幼稚園が廃止の予定です。

保育園の「統廃合（廃止）」は、平成 36 年度末に浜保育園・森島保育園が廃止予定ですが、保育の需要を鑑みながら廃止する予定です。

「複合化」について、具体的な園や年度は未定です。幼稚園・保育園以外の公共施設の再編等に併せて随時検討していきます。

ソフトの方策は、ハードの方策の実行に併せて実施していく予定ですが、前倒しで実施可能な事業については、先行して実施していきます。

【全体スケジュール】

		年度	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)	H36 (2024)	H37 (2025)	H38 (2026)	H39 (2027)				
		方策 (取組)														
ハードの方策 (取組)	民間 移管	個別計画策定 (対象園・実施事業の決定等)	移管順の決定		法人公募 (2園)		法人公募 (2園)		法人公募 (2園)		保育園 (2園)		保育園 (2園)		保育園 (2園)	
	統廃合 (廃止)		浜幼稚園		元吉原幼稚園		大淵幼稚園・南幼稚園		原田幼稚園		浜保育園・森島保育園					
ソフトの方策 (取組)	ことばの教室		検討・一部実施										実施			
	一時預かり		検討・一部実施										実施			
	障害児保育		検討・一部実施										実施			
	研修の実施		検討・一部実施										実施			
	教育・保育 施設の巡回		検討・一部実施										実施			
	地域連携保 育士の配置		検討・一部実施										実施			

▨ 検討・一部実施

➡ 実施